

## 法人概要・推進体制・予算

### 1 法人概要

名称：公益社団法人ひょうご観光本部（2019年8月1日名称変更）  
住所：〒650-8567 神戸市中央区下山手通5-10-1（兵庫県庁1号館7階）Tel. 078(361)7661 Fax. 078-361-7662  
経緯：2020年3月登録DMO認定、2012年4月公益社団法人認定、1952年2月社団法人兵庫県観光連盟として発足  
代表者：理事長 高士薰（株神戸新聞社代表取締役会長）  
職員数：23人 会員数（2020年6月現在）：295（県内市町、観光協会、観光事業者等）

### 2 推進体制（2020年4月現在）

総務課	・理事会・総会の運営 ・会員サービス
マーケティング課	・市場調査及び分析 ・ひょうごツーリズム戦略推進会議の実施
企画開発課	・周遊・体験型コンテンツの開発 ・外国人観光客受入基盤整備 ・ニューツーリズム推進
国内プロモーション課	・国内向けプロモーション・ファムトリップの実施 ・おもてなし研修の実施
海外プロモーション課	・海外向けプロモーション・ファムトリップの実施 ・インバウンド展開支援 ・広域周遊ガイド育成

### めざすところ

「兵庫 2030 年の展望」に掲げる「交流五国・ツーリズム人口が拡大する兵庫」を実現するために、2025 年の大阪・関西万博までの 6 年間を好機ととらえ、ひょうごツーリズム戦略（2020～2022 年度）に基づき、兵庫県へのさらなる誘客を推進する。

#### 【めざす姿】

#### 「世界に選ばれるデスティネーション兵庫」

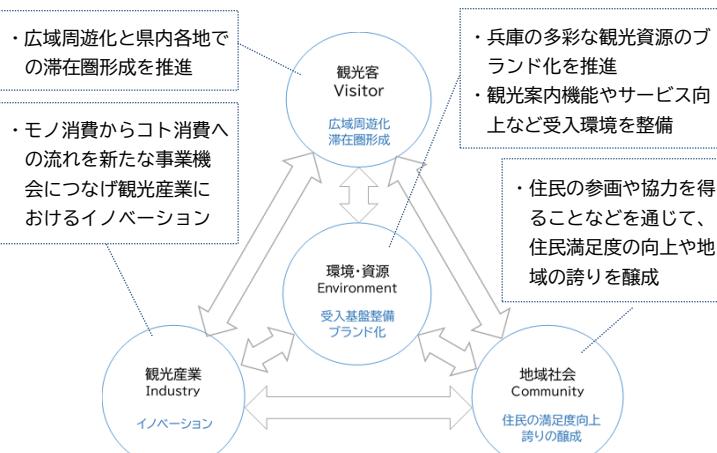
日本はじめ世界から訪れる多くの旅行者が、素晴らしい出会い、体験を楽しみ、兵庫での観光に満足して、再び訪れてもらえる観光地域となることをめざす。

#### 【事業推進方針】

観光振興を通じより良い地域社会を実現する「持続可能な観光」をめざし、地域連携DMOひょうご観光本部を中心とした次の視点で臨む。

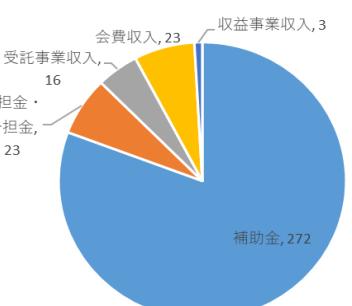
#### ① 多様なステークホルダーとの連携

観光地域づくりにかかる4つの対象に働きかけ、兵庫の観光振興の好循環を生み出す。

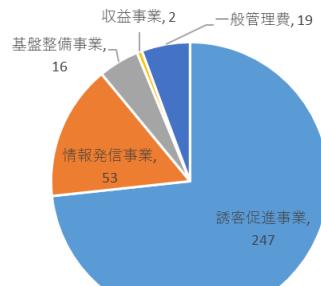


#### 3 初期予算（2020年度）

【収入】337百万円



【支出】337百万円



## 主な事業

### 観光地魅力コンテンツの創出・発信

- 付加価値の高い着地型コンテンツの開発と周遊プラン商品化
- 都市観光でのナイト・モーニング・タイムプログラムの充実
- 里山・海の観光での農泊・宿泊など滞在型プログラムの開発



### 観光客受入基盤の整備

- 多言語案内・解説板の充実、通訳ICTサービスの充実など計画的な基盤整備の推進
- 飲食店・小売店等における多言語対応やハラル・ベジタリアン等への対応・情報発信
- 訪日外国人旅行者対応のローカルガイド育成研修
- ALAT（外国语指導助手）や留学生等の活用



### 重点市場への戦略・継続的なプロモーション

- 海外航空会社との連携によるプロモーション
- パブリティを活用した広報での情報発信
- 重点市場に向けたオンラインプロモーションの強化
- 台湾、タイ、香港、韓国のリピーター市場への「ひょうご国際観光デスク」の設置



### 観光ビジネスの創出・育成

- 観光ビジネスのオープンソリューション・マッチング、事業化への支援
- ゴルフ・スキー・サイクリング等スポーツツーリズムの開発・推進
- 産業観光・インフラツーリズムの開発・推進



### 観光地アクセスの整備

- 拠点駅・観光スポット・宿泊地を定額料金で巡る観光タクシーの運行
- 観光型MaaSなど新たな交通サービスの研究・検討
- 観光案内所の整備・機能の拡充

### 広域ゲートウェイへのアプローチ

- 関西国際空港直行便を有する欧州航空会社との連携によるプロモーション
- アジア各都市から隣接県等の地方空港に就航する航空会社との連携によるプロモーション
- クルーズ船の外国人乗客向け県内周遊ツアーや造成
- 広域連携DMO等と連携した関西圏はじめ、瀬戸内圏、日本海圏、四国・淡路圏の広域周遊ルート形成